



HAMADA J.A.S
SHIMANE

浜田陸上教室ニュース

令和4年7月16日

決勝までもう少し⇒0.74秒差



世界選手権(米国・オレゴン州ユージン)に三浦龍司選手が3000m障害に参加しました。東京オリンピックで7位入賞をした三浦選手には日本全体から注目と期待が集まり「日本記録の更新」「メダルの獲得も」等の報道が早くからされて大変だったと思います。

3000m障害は大会初日の7月15日(土)3組3着+6で行われました。三浦選手は2組で走り、前半から先頭集団で2000mを通過し、残り1000m過ぎからの駆け引きとスピードの変化があり、普段より難しいレースでしたが粘り強い走りをして8分21秒80(5着)でゴールしましたが、プラス6名に0.74秒差(7番目)で決勝に進出できませんでした。誰もがオリンピックの成績から決勝に進出するだろうと考えていた人が多かったと思いますが、世界大会で決勝に残ることの難しさを改めて教えられました。

インタビューで三浦選手は「すごく充実したレースだった。気持ちの面では余裕がもっていた」「後半の伸びが足りなかった」「逃げ切る姿勢はなかった。そこは自分の自信のなさ」などの答えの他に「日本選手権の時よりも良かった」と話していました。8分14秒47の大会新で2連覇したレースよりも良かったのか?記録では分からない収穫が三浦選手にはあったレースだったようで、また強くなりました。



浜田陸協主催で「三浦選手応援の会(パブリックビューイング)」を母校(国府小学校体育館)で行いました。久保田市長、岡田教育長をはじめ地域の方や浜田JAS関係の子供達や保護者約100名が応援をしました。